

令和6年度 延岡市立恒富中学校 学校評価 PTA執行部

1. 生徒のアンケート及び考察より

◎ 全体を見たとき。

成果(強く思う+思う)と課題(あまり思わない+全く思わない)の二項目に分けた場合、課題が0%なのが一つも無い。

少数意見を見逃さないように対処しなければならない。

【 成 果 】

10. 交通ルールを守り安全を心がけ登下校している 98%

○ 本人たちは守っているつもりでも、周りから見れば守られていないと感じられ、苦情の連絡があることも。

実際に、下校中三角公園からまるみやに抜ける道に生徒が長くたむろして邪魔だし、見苦しいと言われたことがある。

● 交通ルールは守っていても、周りの人たちに迷惑をかけてはいけないことを伝えないといけない。

朝の立ち番で感じたことで、正門前で横一列に広がって歩いていて、小学校に登校する子どもと交差しても譲ってあげられないほどおしゃべりに夢中になっていることが毎日見受けられた。(特に女子)

12. 服装や身だしなみがきちんとしている 94%

○ 引き続き整えてほしい。

● たまに指導を受けている生徒を見かける。シャツを入れない。靴のかかとを踏んでいる。

14. 掃除をしっかりと行っている 94%

○ さらに、掃除の大切さを指導してほしい。

● 先生方の目の行き届かない場所で、ふざけている生徒を見かけたことがある。(1年)

15. 学校に信頼できる先生がいる 85%

17. 先生は生徒の行動に対してきちんと指導してくれている 90%

18. 学習や係活動、部活動等で自分の取り組みを認めてくれる先生がいる 94%

○ 子どもたちが安心して先生方と接しているのが見受けられて素晴らしい。が、その反面にそう思っていない子どもたちがいることも事実。今後さらなる声かけや、様子を見守ることが大事。

● 社会体育部で活躍している、頑張っている生徒の紹介をして欲しい。(いつもその他扱い)

16. 人間関係は良好である 93%

● 高い方ではあるが、そうでないと思っている子どもがいることが問題。

もし、いじめがあるなら本当にやめて欲しいと強く願う。やる方はいじめとっていないかもしれない。

たまにこんなことがあったとか保護者から聞く。いじめは絶対許さない。

【 課 題 】

4. 学校の宿題以外の家庭学習に取り組んでいる 46%

○ 参考になるような上級生の見本を見せたり、取り組み方の対応が必要。

5. 定期試験前、計画的に学習に取り組んでいる 36%

○ 計画の立て方のご指導は行われていると思う。本人の意識の問題。一つ一つのテストが、後の受験の際いかに大切なかを教えていくこと。苦手な教科を苦手のままにしない。

○ 計画の立て方が分からない生徒がいる。

6. 読書をする習慣がある 49%

- 活字離れが気になる。国語力や想像力にも繋がる大事なことなので、対策を練ること。
- 図書室の活用法の見直し。定期的な新刊・おすすめの紹介の仕方。
- 地域の方の利用日を設けて、生徒との交流を図る。 → 地域交流に繋がるのでは

7. 将来の職業・目標等に希望を持っている 38%

- 自身の可能性を信じて進んでいけるように、様々な分野で活躍されている方々の講話を聞ける場を設けて欲しい。

19. 先生はどの生徒にも公平に指導している 24%

- なぜ公平だと思わないのか、アンケート調査をする。

25. 授業では、挙手をして発表する場面がある 42%

- 分かっているのに挙手できない。人前で意見発表する機会を増やす。入学後早めに取り組むことにより、受験の際面接に役立つかも。
- No.1～3 の質問について、概ね80～90%が強く思う～思うという結果なので、良いことと思う。ただ、我が子の話では、授業中に奇声を発したり妨害する生徒が数名おり、授業への集中や理解に非常に妨げになっていると聞いた。そのために足を引っ張られることがもしあるとするなら、問題だなと思う。

2. 保護者のアンケート及び考察より

◎ 全体を見たとき。

ほとんどの項目が生徒のアンケート結果と同じだが、少々ずれがあるものも。

15. 学校の電話対応は丁寧である 100%

- とても素晴らしいこと。引き続きよろしくお願いいたします。

【 成 果 】

8. 我が子は、交通安全に注意して登下校している 93%

- 生徒の評価10.を参照
- 自家用車で送迎の周知徹底を今一度促していただきたい。入学指導の際、入学してからの懇談会などで何度も実施。

(特例でケガ等の際は乗り入れ可能でも許可書を発行する)

17. 恒富中の授業参観・学校行事の公開は適切に行われている 98%

- 引き続き情報公開など積極的に行っていただきたい。

18. 恒富中の生徒は、服装や身だしなみが整っている 94%

- 保護者も一緒になって、引き続き整えてほしい。

22. 恒富中の生徒は、学校行事に積極的に取り組んでいる 97%

- 素晴らしい。
- ロードレース大会は保護者の見学が毎年少なく感じる。
- ロードレース大会で隠れて走らなかった生徒を見かけた。
- 合唱コンクールの際の保護者の私語や音がすごく気になった。

【 課 題 】

4. 我が子は、学校の宿題以外の家庭学習に取り組んでいる 57%

- 保護者もアドバイスできる環境だと良いが、勉強に関しては親より先生のご指導の方が良いと思われる。

○ 家庭学習に必要なことは、学習の癖付けだと思う。そのために課題はしっかりとだしてもらいたい。夏休みや冬休み関係なくしっかり課題があることで、やらなきゃいけないという意識づけになると思う。自主性の前に何を自主的にするのかを理解するべきだと思う。そこで提案だが、テスト前に部活をお休みにすると思うが、部活で勉強会を開くのもいいと思う。学年の違う生徒同士が教え合うことで、自分に合った学習方法を見つける機会になるのではないだろうか。顧問・副顧問の先生がつくことで、先生方の情報交換の場にもなると思う。授業とは別で学ぶ時間を作ることで、部活に興味を持つ子が増えれば一石二鳥かと思う。

5. 我が子は、定期テスト前、計画的に学習に取り組んでいる 40%

○ 本人の意識の問題。

6. 我が子は、読書をする習慣がある 58%

○ 活字離れが気になる。本を読むことにより感受性も養われるので習慣をつけたい。

○ 読書離れは子どもの問題ではなく、家庭の問題だと思う。家で本や新聞を読む家庭がどれだけあるのかはわかりませんが、家でしていないこと、親もしていないことを子どもに強要するのはおかしいと思う。

7. 我が子は、将来の職業・目標等に希望を持っている 49%

○ 早い段階から今実施されているキャリアデザインを取り込んでいることにより、改善されることを期待している。

12. 恒富中は、いじめや問題行動の対応に努めている 33%

○ いじめの実態は耳にするし、相談もされる。今後学校とどのような対策をすればよいか共に考えていきたい。

13. 恒富中は、生徒に寄り添い生徒理解に努めている 24%

○ 今後さらなる声かけや、様子を見守ることも大切だが、話しやすい環境を作ることも大事。

21. 恒富中の生徒は、進んで挨拶や返事がしっかりできている 24%

○ ほぼ出来ているが、少人数の生徒は全く挨拶しない。こちらからしても無視。(登校中友だちと話に夢中/特に女子)

23. 恒富中は、様々な場面で生徒の活躍の場を設定している 68%

○ 決まった生徒ばかりが発表している気がする。活動の場をもっと設けて欲しい。

○ 新聞の中学生の作文・俳句・川柳等のコーナーにどんどん投稿してほしい。

### 3. 教職員のアンケート及び考察より

◎ 全体を見たとき。

4. いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている 100%

28. 学校は学校HPや学級通信などによる積極的な情報公開をしている 100%

34. 不祥事根絶を常に心がけ、自覚と責任をもった行動をしている 100%

37. 教育公務員として、服装・倫理を常に心がけている 100%

39. 校務分掌の仕事を理解し、意識して取り組んでいる 100%

○ 先生方の意識の高さと好感が持てる。

○ これからもプライドと自信をもって接し、生徒にも保護者にも信頼の持てるみなさまであって欲しい。

○ 先生方、よくやっておられると感心している。

【 成 果 】

4. いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている 100%

○ もしいじめがあるならば、いじめゼロを願いたい。

● 先生方の知らない問題もあると思う。どんな小さな情報や態度も見逃さないで欲しい。

16. 学級(学年)で健康観察を毎日きちんと行った 91%

○ 健康観察の際に、元気でない子が把握できると良い。

○ マスクは個人の自由ではあるが、感染状況によっては着用を進めて欲しい。(特に行事前、受験前など)(先生方も)

28. 学校は学校HPや学級通信などによる積極的な情報公開をしている 100%

● HPをもっとUPして欲しい。部活動のお知らせはあってよいが、例えば「△△部のお知らせ」と題名表示していただきたい。学校内での子どもたちの様子が最近全く見れなくて残念。担当の先生方を毎月変えるなど工夫して欲しい。

【 課 題 】

3. 学年での生徒指導を含む協力体制は出来ている 37%

○ 生徒・保護者のためにも至急対策して欲しい。

9. 学校をよりよくするための生徒主体の委員会活動ができている 45%

○ 生徒たちの活躍の場を増やすためにも浸透して欲しい。

22. 主体的・対話的で深い学びの視点による授業実施を意識している 46%

○ 対話とは意見交換を通じてお互いを深く理解し、信頼関係を築くためのコミュニケーションであるため、とても大切だと思う。

25. PTA活動や地域活動に積極的に参加した 46%

○ 年に一度の地域清掃活動だけでなく、先日雨天のために室内での交流会となった。ああいったものが増やせたら尚良い。学業も大切だが、はげまし隊のみなさんとだけでなく、地域の方々に昔遊びや、歴史を学ぶ場も設けて欲しい。

そのような場に教職員の方々も参加していただけたらとてもありがたい。

○ No.19 ICTを積極的に活用した 全く思わないとの回答 9%

ICT教育の遅れは、保護者より先生方のほうがもどかしく感じていらっしゃると思う。オンラインの環境を整えるのは難しいと思う。コロナ禍で2学期制を実施した際に感じたことだが、年4回の定期テストにすることで、先生方の時間を作ることができるのではないだろうか。オンラインの環境を整えるのではなく、少人数学習・課題などを増やし(受験を意識する3年生は小テストを増やす)、その中ですぐに不明点を調べられるようインターネットの利用やタブレットの使用時間を増やすのはどうだろうか。自主的に調べ、それを先生方がチェックすることで目の行き届いた学習になるのではないだろうか。※あくまで、少人数での授業での実施をした時。小テストなどは、受験の過去問に触れるなど早い段階での受験の意識づけにより、子どもたちにここからスタートですという実感を持ってもらいたい。